

1. 事業期間

2020年 6月1日～2021年5月31日

2. 基本方針

当法人は、地域を支えるために必要な資源の循環を作り、社会を構成するあらゆる人が地域の未来を担い合い支える仕組みを構築することによって、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的としています。

そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、新たに創設した次世代育成事業「Appleseed 奨学金」（熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給））では、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来世界的視野を持ちグローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的として事業を行います。

《設立から3ヵ年、以下の重点取り組みを行ってきました》

○2017年度重点取り組み【仕組みの充実と拡充】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の拡充
- ② 熊本地震支援活動団体のサポート体制・連携
- ③ 助成事業の充実

○2018年度重点取り組み【ネットワーク連携強化】

- ① 連携強化による新たな資源の確保
- ② 地域の課題解決に向けた仕組み作り・交流サロンの充実
- ③ ネットワーク連携による助成事業の充実

【2019年度事業目標について】

- 引き続き熊本地震支援活動を行うとともに、県内・全国に向けて活動の趣旨や内容についての普及啓発活動を行い、新たな基金の創設・そのために必要な資源の確保を行ってまいります。
- 地域が抱える社会課題についての実態やニーズ調査し、必要なサポート体制づくり。特にこれまで助成サポートを行ってきた「女性・子ども・若者」の支援体制構築を重点に進めます。
- 同時に関係機関と連携して、ファンレイジング勉強会等学びの場を提供し、団体の課題解決を全面的にバックアップする体制づくりに努めます。さらに、相談・コンサルティング機能を整え、サポート強化を図ります。
- 新たに創設した「Appleseed 奨学金」熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給）について、広く資源の確保を行いながら、事業を行ってまいります。

特に重点取り組みを以下の4点におきます。

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保（1592チャレンジ・Appleseed 奨学金）
- ② 社会課題のニーズ・課題調査、サポート体制づくり（女性・子ども・若者）
- ③ 団体サポートコンサルティング人材育成
- ④ 組織運営・事務局体制の強化・充実

3. 事業

（公益活動推進事業）

（1）公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

●事業名：チャレンジ1592（ひごくに）寄付募集

【事業概要】熊本地震から3年。熊本でたくさんの方が、被災者支援や復興支援活動を展開してきました。持続可能な活動にしていくために、引き続き、活動をサポートしていくために、活動に賛同いただける方を募り、熊本元気応援「チャレンジ1592寄付」として登録・ご寄付を依頼。賛同者1592人をめざす！

【内容】一口応援団メニュー（様々な寄付メニューを紹介し、寄付者の思いを大事にした寄付）

【賛同者】1,592人（メッセージを同時をお願いしてHP上で公開＝賛同者）

【目標額】100万（2020年5月まで）

チャレンジ1592



2019年12月「チャレンジ1592」HP完成

12月寄付クレジット決済導入

2020年3月アプリリリースの予定であったが、コロナ感染対応で延期

2020年5月までの寄付総額 611,110円

●事業名：財団アワード

【事業概要】熊本地震後、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催。

【内容】みんなでつくる未来—欲しい未来を熊本へ

1. 講演「みんなでつくる未来—欲しい未来を熊本へ」（遺贈寄付について）
2. オルビスくまもと未来基金採択者活動最終報告
3. 「1592寄付チャレンジ」熊本暮らし人基金—募集について
4. 交流会

【実施日時】令和元年12月21日（土）14：00～17：00

【実施場所】熊本城彩苑

【対象者】NPO・行政関係者・企業・地域金融機関・関心ある方

【参加者】62名

【参加費】無料

【賛同者目標】50名



一年の感謝を込めて、未来を語ろう！

第一部

三年目を迎える

#オルビスくまもと未来基金

活動支援8団体の最終活動報告

- ①嘉島 だんだん食堂-ハンズハンズ
- ②尾ノ上コミュニティ食堂《陽だまりの樹》
- ③子育てネットワーク『縁側moyai』
- ④ HAPPY PARK
- ⑤ イースターパーティー実行委員会
- ⑥ こどもが主役のハロウィンマルシェ
- ⑦ 益城こども農園
- ⑧ 熊本転入ママの会 くまてん



第二部

講演

一般財団法人あしなが育英会

顧問 山北洋二氏

「寄付がつなく地域の未来」

遺贈寄付の現状と受け入れ団体の

準備



《成果》

・採択団体の発表は、事前研修を行っていたので、大変レベルの高い発表であった。(HPに掲載)

・ご支援から3年、様々な調整や話し合い・中間報告会・最終報告会 など丁寧にコミュニケーションを心がけてきた。団体の活動成果や評価も高く、オルビス株式会社 代表取締役社長様より、お礼のクリスマスメッセージをいただいた。3年間の活動支援への責任を果たせたと考えている。

「東京から、熊本への直接的支援ができない中、代わりに支援くださってありがとうございます。皆さんの素晴らしい活動の感動しています。」

・2020年も引き続き、伴走型基盤強化事業に関してジャパンギビング社と連携して、継続支援いただくことが決定した(総額150万 内財団70万)

・採択団体には、日ごろお世話になっている関係者も招待して、報告を聞いてもらった。家族(パートナー)、メンバー、議員、寄付者、ボランティア応援者など。採択団体の活動を改めて聞いてもらうことで、さらに活動に共感、協力するきっかけとなったようである。

●寄付月間関連イベント

寄付文化の醸成のため、クリスマス

マーケット内で「SDGsカフェ」を開催

寄附箱に応援したい市民活動に寄付体験



【熊本での寄付月間関連イベントスケジュール】

11月30日 (土) 18:00~20:30 熊本市内	《KIFUカクシオン》 熊本で寄付を語り合う文化を ゆる〜くみんなで語り合う企画 寄付者団体から寄付者へリーダー で話題提供、みんなで応援しよう！	
12月5日~ 12月11日 クリスマス マーケット内 (花畑公園)	《きふBAR》 熊本に新しい風物詩を クリスマスマーケット熊本内でSDGs の目標に例えた活動団体紹介 の「寄付バー」寄付体験など	
12月17日 (火) 午後 天草市市民 活動サポート	《この1年お世話になった人に 感謝しよう》 記念に残る贈り物 団体活動発表 交流会	
12月21日 (土) 13:30~17:00 熊本城菜園 多目的交流 施設	《おもいアワード》 “みんなで未来を語る” 活動支援団体活動報告 ・講演「地域をつなぐ寄付」 あしなが育英会顧問 山北洋二氏	



(2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

●事業名：熊本暮らし人基金

【概要】熊本の課題解決に向けた活動を行っている団体を助成

【実施期間】2020年募集

【対象】熊本で活動している団体

【収入】611,110円 【支出】110,000円

●2月から全国的に新型コロナウイルス感染流行に伴う「緊急事態宣言・一斉休校措置」に伴い影響を受けたひとり親家庭・子ども世帯への支援を始める！

【新型コロナウイルス感染対策緊急休校に伴う子育て世帯応援プロジェクト】
実施状況（2月～5月末まで）



*2月関係団体情報集・情報共有

① ひとり親家庭支援・子育て支援団体・スタッフ

・3月12日オルビス株式会社様より（栄養補助食品）

ひとり親家庭（ひとり親家庭福祉協議会・熊本シンママ応援団）

オルビスくまもと未来基金サポート団体（嘉島町だんだん食堂

・子育てネットワーク縁側 moyai・HAPPY PARK 熊本）



② 子ども世帯応援プロジェクト

・3月10日 天草ポンカン（100世帯分）ひとり親家庭へ（1万円）

*フードロスに取り組む「フリフル」、ひとり親家庭との福祉協議会
嘉島町子ども食堂ハンズハンズとの連携

・3月15日 フェアトレードチョコ&オーガニックコーヒー100組
子育てママへプレゼント（5万円）

*フェアトレード「ラブランド」・「子ども食堂」「シンママ応援団」
との連携



③ 子育て世帯応援プロジェクト・医療関係者応援プロジェクト

（5月4日プロジェクト立ち上げ）1団体 5万円～10万円

・5月18日熊本機能病院（5万円）

コロナ感染対応スタッフの皆様へお弁当（*コロナ感染で影響の受けた
飲食店応援）を届ける



《成果》

・財団でこれまで支援してきた採択団体と連携した支援ができた。

・「誰ひとり取り残さない」という視点から、多様な団体との連携を図りながら、連携支援体制を今後も

構築していく。

- ・県民に向けて寄付活動をいち早く発信したことで、様々個人・企業・組織の方からの寄付があり、有効に使うことができた。
- ・医療従事者応援プロジェクトについて、関係病院と相談しながら、内容を決めた。思いがけず応援病院の代表者様からの令状・スタッフ皆様からの寄せ書きをいただいた。想いを大事にした応援の形の大事さを改めて思った。
- ・コロナ感染対応は今後も現状を見ながら継続して行っていく。

(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

●オルビスくまもと未来基金（2017年より実施）

- ・2019年助成事業（助成金総額400万 伴走支援事業120万）

実施期間：2020年1月～2020年12月

かけがえのない「いつもの」日常を被災者が取り戻す力になりたい！そんな思いから始まった株式会社オルビスの「いつもプロジェクト」会員の皆様からいただいたご寄付から、くまもと未来創造基金で創設した「オルビスくまもと未来基金」は3年目を迎えました。

★3年目（2019年）は「熊本の働く女性や子育てママ、大学生、中高生なども含む子どもたち」の支援活動を行う団体を対象に、被災した私たち自ら、継続的な支援活動体制を今後も継続し、熊本の明るい未来を作るために「コミュニティの場形成やネットワーク・連携を活かし、継続的な生活支援・心のケア支援・就業雇用支援ができる活動や体制づくり」を支援

《採択団体》

(ア)嘉島町だんだん食堂-ハンズハンズ②尾ノ上コミュニティ食堂《陽だまりの樹》

(イ)子育てネットワーク『縁側moyai』④HAPPY PARK⑤イースターパーティー実行委員会

⑥ こどもが主役のハロウィンマルシェ⑦益城こども農園⑧熊本転入ママの会 くまてん

(団体基盤強化研修・サポート実施報告)

	2018年10月	2019年1-3月	4-6月	7月	7-9月	10-12月	2020年1-2月
財団	【説明会・申請書作成セミナー】県内6カ所	中間報告に向けてヒアリング 会計等相談会	各団体中間報告書提出・サポート	中間報告会実施 (オルビス社からのアドバイザー)	活動ヒアリング・運営相談サポート 会計相談	・組織体制 ・次年度に向けた事業計画	団体活動状況把握 報告書作成
	説明会・申請書作成セミナー	3月～4月：セミナー・相談会実施	6月：セミナー・相談会実施		9月：セミナー・相談会実施	11月：交流会・相談会実施	
セミナー内容	【10月】 ・助成金説明 ・申請書の書き方ポイント ・事業計画・予算書の作成	2019年【6月】 戦略的ファンドレイジング 具体的な「ファンドレイジング計画」 ・広報・共感を集めるストーリー作り	【9月】 「復興期に応じた持続可能な支援活動」 阪神淡路大震災の経験から（コミュニティ形成・雇用等）		【10月】 「地域で連携した支援活動の在り方」 東日本大震災の経験から（福島災害復興連携センター）	【11月】交流会 「効果的な報告書の作り方」 ・活動報告事前発表 ・報告書の作り方 ・次年度計画を立てる 【12月】最終報告会	【12月】 最終報告会
団体としての目標	自団体の活動計画と助成金の目的照らし合わせて申請書を作成する	・自団体の棚卸 ・ファンドレイジング計画 ・広報ツールの作成	今後のつながるコミュニティ支援について考える。	中間報告	地域で連携した支援の在り方今後の活動計画について考える。	・報告する相手を考えて効果的な事業報告書の作り方を考える。 ・団体同士の交流を深める。	① 事業完了報告書提出 ② 活動報告書作成 ③ 精算一収支報告 ④ 次年度計画書
成果	助成金の目的・申請のポイントに沿った申請書の作成	ファンドレイジング計画を策定し、実行できる。	活動の整理・持続可能な活動をする体制を整える。		持続的活動をするための連携について計画を立てる。	実施・評価・改善を図ることができる。 自立した運営に向けて次年度に向けた計画を立てている	

開催日時	タイトル	主な内容	詳細
《1回目》 8月17日(土) 13:30～15:30 (15:30～16:00 個別相談)	「団体の未来を描く」	1. 団体の目指すもの 2. 3年後の姿 3. 計画 4. 課題の整理 5. 取り組むべき優先課題	・ビジョン・ミッションの明確化 ・なりたい姿 ・組織の棚卸 現状分析 ・優先課題を決める
《2回目》 9月21日(土) 13:30～15:30 (15:30～16:00 個別相談)	NPO&資金 「戦略的ファンド レイジング」 (実践編)	1. 戦略的ファンドレイジング 2. 必要な資源・ステークホルダー 3. 多様な資金源 会費・寄付・助成金・ 自主収入・イベント 成功事例紹介 4. ファンドレイジング計画作成	・戦略的ファンドレイジング計画 について ・ワーク ・それぞれのメリット・デメリット、 ポイントについて講義、事例紹介後、各団体ワーク
《3回目》 10月26日(土) 13:30～15:30 (15:30～16:00 個別相談)	「信用と支援を得 るための報告書・ 評価」	1. 基本的考え方 ①一相手を意識した報告書 ②実践ワーク 3. 評価していますか？ ①組織評価・事業評価・財 務評価 ②実践ワーク	・事業報告書の事例を見ながら、 事業報告書の在り方・活用法 について考える ・ワーク:実際に作成(ひな形) ・評価の事例 ・ワーク:実際に「評価表」作成

《成果》

●事業：ファンドレイジング勉強会・交流サロン

【事業概要】日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会や交流サロンを開催し、ネットワークづくりやマッチングの場、ニーズや課題の把握の場とします。

【目標】①学びの場の提供 ②「チャレンジ1592」賛同者を集める (③資金調達の専門知識を持った熊本のファンドレイザーを増やす。 ④地域の様々な主体との交流サロンを開催します。

2019年度：勉強会参加者人数延べ50人・交流会サロン参加人数60人

① ファンドレイジング勉強会

時期	会場	時間等	内容	備考
8月	長洲町	14:00～16:00	地域の課題解決	10人
9月 (3回)	あいぽーと・天 草	14:00～16:00	ファンドレイジング	28人
9月	あいぽーと	18:30～20:30	FRJ 報告会	16人
11月	あいぽーと	13:30～16:00	クラウドファンディング勉強会	15人
12月	熊本市	13:30～16:30	寄付募集の勉強会	16人
3月	だん食堂	13:30～15:00	子ども食堂向け勉強会(延期)	

FRJ2019 事前勉強会



クラウドファンディング勉強会

FRJ2019 報告会



こども食堂運営者向け勉強会 (コロナ禍延期)

戦略的資金調達



②交流サロン

時期	会場	時間等	内容	備考
KIFUBAR 11/14 11・30	オモケン パーク Voyager	2 時間程度	寄付について・1592 寄付チャレンジプログラムについて・交流会	各 15 人

(5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

【事業】 情報発信及び広報・普及啓発

【内容】 市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】 市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】 HP

メルマガ

FB 等 SNS

(次世代育成事業)

● 「Appleseed 奨学金」熊本モンタナ高校生留学奨学金

本事業を実施するに当たり、本財団内に特別基金として、「Appleseed 奨学金」を創設いたしました。高校生留学プログラム参加費用相当額の奨学金を、返済義務のない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来グローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的としています。

(2019 年特に本件と 35 年の良好な姉妹交流を続ける米国モンタナ州政府駐日本代表事務所のご協力のもと、公益社団法人日本国際生活体験協会の事業運営により、本年は県立第一高校 3 年生 堤あみさん、専修大学玉名高校 2 年生 永瀬友さんの二名が最終選考を経て選抜されました。)

《2019 年度募集スケジュール》

2019 年

10 月初旬 県内の高校 50 校に対し募集ポスター送付。

10 月下旬 第一回説明会

12 月中旬 筆記試験

面接

2020 年 コロナ感染のため中断

【収入】 4,000,000 円 【支出】 新型 3,200,000 円 【収支差し引き】 800,000 円

⑦ 理事会の開催

年 5 回開催 (6 月、8 月、11 月、2 月、5 月)

6 月—今年度事業計画・予算状況

8 月—進捗状況

11 月—進捗状況・次年度事業計画

2 月—次年度計画 (最終)

5 月—今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

⑧ 評議員会開催

コロナ感染対策のため

・2020 年 8 月郵送による書面決済